

城南衛生管理組合
管理者 山本正殿

2018年度 城南衛生管理組合環境マネジメントシステム
外部評価報告書

2019年2月1日

外部評価員

芦原 昇

吉田康夫

(文責:吉田)

外部評価実施日 2019年1月31日ー2月1日

外部評価実施サイト

- ・エコポート長谷山
- ・クリーン 21 長谷山
- ・リサイクルセンター長谷山
- ・ごみ中継場
- ・EMS 事務局

【総括】

1. 経緯

2018年4月2日付：「城南衛生管理組合環境マネジメントシステム 運用マニュアル 第1版」（以下、「新マニュアル」と表記）が制定され運用が開始されました。2001年7月にISO14001を認証取得、2010年7月にISO14001自主適合宣言に移行しさらに今般、「業務と一体化したマネジメントシステム」を意図した組合独自の「環境マネジメントシステム」を構築されました。

2. 新マニュアルはPDCAサイクルを基本とし、各項のプロセスをフロー図として示されシステムの簡略化を図りながら分かりやすい構成／内容になっており、システム全体が理解しやすく運用がスムーズに行われているようです。

3. 以下の項目評価も含め、新マネジメントシステムは「組織にとって適切であり、運用は妥当であり、意図した目標に対し有効である」と判断します。

【主要項目の評価】

1. 計画：目標の管理

目標の設定には3つの枠組みが示されています。

「組織全体の共通目標」「安心・安全な施設運営」「各サイトごとの目標」があります。この枠組みは、各サイトが目標設定するうえで大変効果的と思われ、取組意欲の向上にもつながっているように感じます。

目標の管理は、「年間計画表」で各月の実施確認を行い「環境マネジメントプログラム

進行管理表」で四半期ごとに中間状況の把握と以後の対応の検討が行われています。
目標達成のシステムとして有効と判断します。

2. 法的及びその他要求事項

各サイトで「法的要求事項等一覧兼順守報告」が作成され、該当月に要求事項を実施し、記録しています。半期ごとに同報告を EMS 事務局に提出し、事務局で確認しています。定期的な見直しを毎年 4 月に実施しています。

3. 内部監査

直近の実施状況 2018 年 11 月 5 日～9 日

監査員 10 名（登録監査員 32 名）

内部監査チェックシートを使用してきめ細かな監査を展開されています。

称賛事項：15 件 要望事項：15 件 観察事項：12 件 不適合：1 件

不適合 1 件については現在（2 月 1 日）対応中とのことです。

監査における公平性、適切性、有効性が認められます。

4. 監査結果

(ア) 称賛事項（好事例）

a. リサイクルセンターでの環境取組み

プラスチック製容器包装等廃棄物の中に不適合物混入の懸念がある。作業効率の悪化、有害物混入リスク等が考えられる。その対策としてイベント、ホームページ等での啓発活動を実施しています。

b. 沢中継場における EMS ファイリング

新システムでの運用開始後の記録類の整備が良好かつファイリングが適切です。

(イ) 改善提案

現行、目標設定のプロセスとして「環境側面→著しい環境側面→目標／維持管理／緊急事態」がありますが、これまでの環境取組みの実績等を考慮すると、別の角度からの目標設定等が必要ではないかと思われます。

今回の評価を通して次の提案をさせていただきます。

「リスク」の視点からの「目標／維持管理／緊急事態」の設定。

以上